

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
1	全体的に文字ばかりで見づらい。写真等を使用してはどうか。	ご意見のとおり、写真を使用し、計画内容をイメージしていただきやすくいたします。	全体	有
2	計画書をわざわざ見に行く人はいない。本当に意見が欲しいなら違う方法で行ってほしい。	計画書のパブリックコメントの方針については、現時点で変更は行いません。しかし、日頃の講座開催でのアンケート等でご意見をいただくこと等は可能ですので、皆さんが気軽にご意見をいただけるような機会をつくるよう努めます。	全体	無
3	待機児の事で、解決策が書かれていない。	ご意見のとおり、待機児童の解消は重要なことと認識しており、本文2行目にごございます「保育園等への入園待機児童の解消と目指した受け入れ枠の拡大」と明記しております。	全体	無
4	アンケート結果について、有効回収率が低いのが気になる。市民全体は男女共同参画に対する意識がまだまだ高くないということを示している。市民に対する身近な啓蒙活動の必要性を織り込むことが必要でないかと思う。	市民意識調査の回収率の低さについては、質問内容が多く、複雑であることが指摘されており、次回の市民意識調査では、質問内容を再度考え直す必要があると感じております。また、身近な啓蒙活動としてどのようなものが良いか検討してまいります。	全体	無
5	重点施策があっても良いと思う。公の長期にわたる計画であるので、あまり具体性を示すことは差し控えることは大切であると思うが、もう少し実態に即した計画であっても良いと考える。	長期にわたる計画になり、具体策についてまだ記載できないものもありますので抽象的な表現になっております。具体策につきましては、各年の進捗管理で報告し、成果と次年度以降に向けた課題を提示いたします。	全体	無
6	全体を通して、第3期の結果を踏まえての課題提示と、具体的な対策がない。	第3期計画の中で、市民の男女共同に関する意識の上昇は見受けられますが、まだまだ啓蒙を行わないといけないのが現状です。基本的には第3期計画と同じ課題と認識し、課題解決に努めます。	全体	無
7	目標値があったものについては、今期の目標値とともに、その実施状況が経年で記載されているとわかりやすい。	目標値につきましては、5年に一度行う市民意識調査の質問項目でしか確認がとれないものもごございますが、「採用した職員に占める女性職員の割合」「市立小中学校の校長・教頭の女性割合」等は経年ではかることができます。年によっては、数値が増減するものもあるので、当初の予定通り経年ではなく、目標値で本計画は対応いたします。	全体	無
8	今後「努める」「取り組む」「推進する」等と表現されていることについて具体策が提案されることを期待したい。	現時点で具体的な施策が決定しているものは、記載させていただきますが、計画時点で決定していないものもありますので、施策を実施する関係機関と調整を取りながら、具体策を決定していきたいと考えております。	全体	無
9	国は、国連への提出文書等で「gender equality」としながら国内向けの発信では「男女共同参画」と使い分けているが、本市では「ジェンダー平等」を使用してほしい。	国や大阪府の計画内容でも、「男女共同参画」「ジェンダー平等」を併記しております。本市の計画でもどちらも使用していますが、現時点でどちらを使わないといけないという方針が決定しておりませんので、本計画では方向性を決めず、現状のままにいたします。	全体	無
10	全体的に方針にとどまり具体的な計画についての記載はないけれども、今後個々の項目について具体策が実行されることを期待したい。	各施策についての進捗状況については、毎年行います。	全体	無

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
11	労働人口の減少を女性が補い、非正規雇用の増加や労働環境の悪化などを支えるための計画であるかのような印象を受けるので、冒頭5行は削除してほしい。	同様のご意見を多数いただきました。内容を確認し、ご意見の様な印象を受けられるとのことなので、冒頭の5行は削除します。	1	有
12	本計画は、日本国憲法、女性差別撤廃条約などの国際規範や国際合意に基づいて「男女」とどまらず、年齢、性的指向、性自認等多様な市民の人権が守られ、幸福感を感じられる摂津市、またポストコロナの新しい摂津市の基盤となることをめざし、完全なジェンダー平等の理念のもとにつくられたことを明記してほしい。	「本計画は、持続可能な開発のための2030アジェンダや女子差別撤廃条約などの国際合意から、摂津市(以下、「本市」という。)がジェンダー平等の理念のもと、男女があらゆる場面で対等な立場で参画することを目指したものです。」に修正いたします。	1	有
13	18行目「社会経済情勢は大きく変化しています」という淡々とした表現にとどまっていますが、策定の背景として、DV、若年妊娠、失業、賃金カット等、コロナ禍でうきぼりになった女性の生きづらさについて言及してほしい。	「新型コロナウイルス感染症拡大の影響による不安定な雇用情勢、顕在化した配偶者等からの暴力や性暴力の増加等社会経済情勢は大きく変化し、特に女性の生きづらさが露呈されています。」と記載します。	1	有
14	新型コロナウイルス感染症が、本計画にどう影響しているかの記載がない。DV、雇用、家庭での役割等、コロナ禍で浮き彫りになった女性の生きづらさに対するセーフティネットの必要性を明記してほしい。また男女ともにオンラインでの働き方が広がったことで、女性に偏っている家事・育児・介護への男女の関わり方に変化を期待する視点もほしい。	19で回答したように、新型コロナウイルス感染症の影響を具体化し、女性の生きづらさを記載した内容に修正しました。	1	有
15	数値目標を掲げたものについては、達成したものについては、その背景、しなかったものはその課題と対策を本計画に記載してほしい。	本ページは計画の進行管理と推進の体制を記載しているページですので、修正はございません。今後の目標数値につきましては、計画書の34ページで記載したとおりになります。	3	無
16	政府の第5次計画では、若い女性の地方から大都市圏への流出が問題とされ、10代から20代女性の人口に対する転出超過数の割合目標を0.80%(2025年)としている。摂津でも、その統計が必要ではないか。	地元を住みやすい(働きやすい)環境に整えることは重要なことであり、地元企業への就職は大変重要なことだと認識し、本計画施策2の②でも女性に対する就労の機会を増やすための情報提供等を進めています。今回の計画においては、目的が既に施策に記載されているため若い女性の転出超過数のデータは使用いたしません。次回の見直し時に検討いたします。	4	無
17	男性職員の育児休業の取得率について、第3期中に上がったのは素晴らしい。今後も右肩上がりを続けてほしい。	今後も男性職員の育児休業の取得率が上がるよう、職場内での意識改革・職場環境づくりに努めます。また、育児・介護休業法が改正されたことにより、令和7年度における政府の目標値が30%になりました。本市としましても政府と合わせ、令和8年度の目標値も30%にします。	14 34	無有
18	アンケート調査結果について 前回の調査のときは結果が逆転し「反対」との意見が男女ともに多くなっていて、ジェンダーについての意識の変化を感じる。	前回調査と比較すると、 前回:賛成は50.7%、反対は47.9% 今回:賛成は33.9%、反対は51.1%であり、ご意見のとおり近年において意識の変化を感じられる結果となりました。	16	無

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
19	アンケート調査結果について選ばれた理由の順位が前回の調査と変わったことに、ジェンダーについての意識の変化を感じる。「家事・育児・介護と両立」「収入」については、ジェンダー平等に向けての社会システム上の大きな課題だ。「男は仕事、女は家庭」という考え方は、いまや男女の役割分担というよりも、制度・環境を整備することで変えられるということが明確になった。	前回調査と比較すると、変化した項目につきましてはジェンダー意識の変化だと感じます。ご意見のとおり、意識啓発だけでなく、法整備や社会環境を変える働きかけが、私たち一人ひとりの意識も変化するものだと認識しています。	16	無
20	「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働きつづけることは大変/可能」という選択肢自体が、回答として考え得る選択肢として設定されたものだろうが、家事・育児、介護は女性の役割という決めつけがあり、違和感がある。	本質問は、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同意する方に向けた質問です。「女は家庭」という意見への同意する理由として考えられそうな選択肢を記載しました。ご意見のところは、家事や育児・介護等と外での仕事の両立が難しいため、「女は家庭」という考え方に至ったのではないかとという意味です。次回市民意識調査の際に質問項目を検討いたします。	16 17	無
21	「同意しない理由」でも、男女は平等だからという理由ではないこの選択肢が一定数選ばれていて、この現状は残念に思う。	次回の市民意識調査において、固定的な性別役割分担意識の解消がすすむよう、意識啓発をすすめます。	17	無
22	育休を取りづらい日本の現実を打破する方策を海外に学ぶべきだと心底思う。	海外や他市町村等における育休取得についての好例を参考にし、本市でも取り入れられるものについては、検討してまいります。	21	無
23	「〇育児は男女がともに担うべきであり、男性も育児休業を取るべきだと思うが、〇現実的には取りづらい」と考える人は多いと推測される。両立しない選択肢ではないのか。	次回の市民意識調査で、わかりやすい回答内容変更を検討いたします。	21	無
24	家族を介護する者を、女性が「自分」、男性が「配偶者」と考えている割合が、前回調査よりともに減っていること、特に、男性が「配偶者」と答えた割合が44%から22%と半減していることはよいことだ。	男性が希望する介護者が配偶者(妻)が減少し、全体を見ても、介護事務所の職員の割合(6.8%から8.2%)が微増ですが増加しており、介護に対する考え方の変化がうかがえます。	22	無
25	DV被害者が相談できない現状が浮き彫りになった。相談窓口の周知の具体策が急がれる。	DV被害を受けたにもかかわらず、誰にも相談できない環境は問題があります。リーフレット配布や庁内窓口でDV被害が疑われる事例の際への相談室のご案内、DV被害と認識していない若年層への出前講座等も引き続き実施し、DVの被害者支援と予防啓発の視点から啓発をすすめてまいります。	26	無
26	⑯、⑰全てが必要なので、調査の意図がわからない。	ご意見のとおり全て必要なものだと思いますが、⑯につきましては、該当するものすべてに〇をするにもかかわらず、まだまだ低い項目があり、意識の低い項目がどのようなものかを調べるために調査を行いました。⑰につきましては、3つだけに〇をする質問になりますが、特にどういった項目を重要だと考えているのかを調査したものになります。	28 29	無
27	「男はしんどいと感じたことがない」と答えた男性の多いこともまた、「しんどい」と言えない男性の生きづらさなのかもしれないとも思える。	男性への強さを求める社会の風潮は根強くあり、弱みを言えないことが、この回答結果にも結び付いているのではないかと考えられます。新たな視点からのご意見だと思います。	30	無

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
28	(3)45ページと同じ内容で良いと思う。	32ページは各施策の方向、45ページは現状と課題を記載したものであり、同じ内容にはできかねます。	32	無
29	目的指標「女の子は女の子らしく、男の子は男らしくしつけるのがよいとの教育方針に賛成またはどちらかといえば賛成の市民の割合」の目標値が現状値より上がっているが間違いではないか?	性別にかかわらず、その人の個性にあった育て方を推奨しているため間違いです。目標値を〇〇に修正いたします。また、目標指数内の文言も「男らしく」ではなく「男の子らしく」が正しいため、併せて修正いたします。	34	有
30	ウイズせつっの女性相談の認知度について、現状6.5から10に増加目標となっているが、目標はもっと高く「20~30」の方が良いと思う。	多くの市民の方にウイズせつっの「女性のための相談室」を認知いただく必要があり、周知に努めなければいけません。5年後の数値目標としては実現可能な数値を設定したいと考えますので、15%とさせていただきます。	34	有
31	指標一覧、目標値を下げる項目と上げる項目が同じ標記で少し理解しづらかった。	目指す方向として数値をどのようにするか記載いたします。 例)「直近1年間…市民の割合」、目指す方向「減少」	34	有
32	職員の研修だけでなく、「就学前教育、学校教育におけるジェンダー平等教育」を明記してほしい。正しい知識を獲得できるよう学校教育での性教育の位置づけも盛り込んでほしい。「子どもの頃からの男女平等教育」を「就学前教育、学校教育での男女平等教育」としてほしい。	ご意見のとおり、市の職員はもちろん、未来を担う子ども達へのジェンダー平等教育は必要だと考えます。37ページの①につきましては、「就学前教育、学校教育等で男女平等教育をすすめます」と追加記載します。また、性教育についても46ページの②がご意見の趣旨となる施策でございます。	37	有
33	②「女性が自分自身の多様な目的」という意味が分からない。	「女性が望む様々な目的と幅広い視野を持って学習に参加できるよう働きかけ、」に変更します。	37	有
34	審議会への全庁的な女性委員登用率は順調に上がっていて、行政分野ではさらに今期の目標値は40%と提示があるものの、第3期の防災分野での目標値30%は、その進捗も今期の目標値も示されていない。「増やす」とどまらず数値目標を示してほしい。	全庁的に女性委員の登用につきましては、事前に市の各種審議会等に積極的に参加していただける女性市民を登録した女性人材登録制度歎めております。防災分野につきましては、現時点では10%にも満たない数値ですので、第3期同様に30%と明記するようにいたします。	38	有
35	第3期で計画されていた防災マニュアルは完成したのか。したならばその活用を、未完成ならその継続を、中止ならその理由を明記してほしい。	平成28年に本市職員で構成される女性政策研究会において「災害対応での男女共同参画を考える～職員の避難所運営ガイド～」をしました。このマニュアルに基づいて今後の避難所運営を行う等の防災分野での男女共同参画を推進しております。また、摂津市地域防災計画では、避難所の運営について、男女のニーズの違いや男女双方の視点に配慮することを記載しております。具体的には女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品、女性用下着の女性による配布、また被災時には女性への暴力が増加することから女性を守る為の防犯ブザーの配布、巡回強化等の視点も取り入れております。本計画を中心に、今後の防災対策を行っていく予定です。	38	有

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
36	日本は「ジェンダーギャップ指数」が低いことがとても残念である。特に政治・経済参画の指数が低い点で基本的方向2施策2について大いに推進してほしい。マーガレット・サッチャー氏の映画上映など一般市民や若年層に関心をしやすい事業を取り組まれることは良いことだと思う。	ご意見のとおり、日本が「ジェンダーギャップ指数」は先進国の中でも低く、政治・経済分野での女性の参画はとても低くあります。本市でも市の施策を決定する各種審議会での女性委員の登用をすすめるよう女性人材登録制度を活用する等をし、目標値を掲げ、令和8年度での目標値は40%を掲げております。また、ウイズせつつで市民が参加しやすい講座を実施するよう努めます。	41 42	無
37	自営業に従事する女性の活躍には、国連女性差別撤廃委員会で「家族従業女性の経済的自立を妨げている」と見直しが勧告されている所得税法56条の廃止が不可欠であり、国に要請してほしい。	所得税法第56条の内容としましては、生計を共にする個人事業主と家族専従者の自家労賃を税法上、必要経費として認めない法律になります。これは家業に従事することが多い女性の経済的自立を阻害することとして廃止を求める声があがっております。本市としましては、ご意見を頂戴し、国や大阪府の動向を確認してまいります。	42	無
38	モデルとなる市役所で男性が育児休業や介護休業をとりやすいように、職員を増やしてほしい。また、日常的に業務の分担や共有をすることにより職場環境を整えることを記載してください。男性職員の目標取得率と、市役所での経験を活かし、企業への啓蒙に努める旨を明記してほしい。	本市では男性職員が積極的に育児休業や介護休業を積極的に取るよう、過去に取得した職員の事例の公表等を行い、取得しやすい環境づくりに努めています。また男性職員の育児休業取得率につきましては、34ページに記載しております。企業への啓発活動につきましては、労働に関する法律・制度の周知等と同様に、時期を見ながら啓発活動に努めます。	42	無
39	④「時間的・場所的な制約を前提とした働き方の見直し」という意味が分からない。	「労働に関する法律・制度の周知と多様で柔軟な働き方を促進します」に変更いたします。	42	有
40	男女がともに社会参加するために保育所の充実が不可欠であるにもかかわらず、待機児の解消についての記載が「子育て支援策の充実が求められています」というだけというのは、あまりに無責任な表現である。①または適当な箇所「待機児の解消を目指す」と主体的に記載してほしい。	ご意見のとおり、待機児童の解消は重要なことと認識しており、本文2行目にごさいます「保育園等への入園待機児童の解消と目指した受け入れ枠の拡大」と明記しております。	43	無
41	政府の第5次計画や、摂津市の第3期計画にはある「セーフティネット」という言葉がなくなってしまったが、復活してほしい。	「セーフティネット」という言葉は使用していませんが、計画の意味合いとしては変更していませんので、今回は特に「セーフティネット」という言葉は使用いたしません。	43	無
42	第3期には無かった「病児保育」が加えられているのはよい。	予測できない子どもの病気で、急に仕事を休むことができない保護者への負担を減らすためにも重要なことと考えます。	43	無
43	「家庭の経済状況によって子どもの教育に格差が生じないよう、世代間における貧困の連鎖を断ち切るための取組」はよい視点なので、具体策を期待したい。	現在新型コロナウイルス感染症のため実施が困難ですが、生活困窮者に対する学習支援等を実施しています。	43	無
44	③「個々に適した子育てを学び」というのが、どういう意味が分からない。	「子どもや家庭の生活に応じた子育てを学び」に変更いたします。	43	有
45	ヤングケアラーについても考えてほしい。	ヤングケアラーについての問題もごさいます。適切な公的支援が受けられるよう、教育現場や市関係機関との連携がとても重要だと認識します。 ⑤の本文内を、「ひとり親家庭に対する子育て支援や就業支援、ヤングケアラー等それぞれの家庭の状況に対応した支援を行います。」に修正します。	44	有

第4期摂津市男女共同参画計画(案)に対するパブリックコメント応募ご意見と市の考え方

ご意見投稿者数:19人

ご意見数:58件(重複するものは1つとしてカウント)

(内訳:①52件、②6件)

①計画内容に関するご意見

番号	ご意見の要旨	市の考え方	頁	修正
46	8行目「学習機会の充実や啓発」を「就学前教育、学校教育における性に関する学習機会の充実や啓発」としてほしい。	就学前教育や学校教育以外での出前授業や講座開催等の学習機会も含むため、修正はいたしません。「学習機会」だけでは意味が伝わりにくいため、「性に関する学習機会の充実や啓発」と修正いたします。	45	有
47	2行目「性別による身体機能の違いや特性」という表現で、性別で身体機能や特性を分ける表現は、「性別役割分担」を導く「性別特性論」につながる。	「誰もが性別等にかかわらず生涯を通じて心身ともに健康で豊かな暮らしを送るためには、多様な特性を十分に理解し、尊重することが重要です」に変更します。	45	有
48	学校での性教育が必要である旨を記載してほしい。	未成年への性教育として、ウイズせつつの女性相談員が各中学校へデートDVの出前講座を実施しています。その講座内で身体的なDV以外にも性的なDVもある等の内容をお伝えし、一部性教育の内容を含んでおります。しかし本計画内では、学校で性教育を行える体制が整っていないため、記載することはできません。	46	無
49	2行目「また、被害者支援については、」は誤り?	「また、被害者支援については、」が正解です。	47	有
50	市民調査によれば、被害にあっても多くの人が相談できずにいる現状がある。相談窓口を周知する実効ある方策を検討してほしい。	31に記載のとおり検討してまいります。	47	無
51	施策2 「デートDVや性犯罪・性暴力被害の被害者にも加害者にもならないために、」の文を、「DV、デートDVや性犯罪・性暴力の被害者にも加害者にもならないために、」に変更してほしい。	ご意見のとおり変更いたします。	47	有
52	⑦「職員が受講するなど」の文章の座りが悪く感じる。	「受講し、人材育成に努めます。」に変更いたします。	48	有